

=====

【危機理論（キャプラン／アギレラ&メシック／フィンク）】

- 定義：危機＝従来の対処で処理不能となった緊急かつ時間限定の不均衡状態（★）
- 種類：発達の危機／状況的危機／実存的危機（★3分類）
- リスク徴候：自傷他害念慮・解離・物質乱用・急性不眠・体重急変（緊急度アセスメント）
- 支援原則：迅速・具体・短期志向／支持的関係／資源動員／問題焦点（★）

[キャプラン (Caplan)]

- ★危機の4段階：①緊張上昇→②対処失敗→③外部援助探索→④破綻/再組織
- ★予防の3水準：一次（危機前）／二次（急性期）／三次（再発予防・再統合）
- 看護：安全確保→感情受容→課題整理→行動計画→フォロー

[アギレラ&メシック (Aguilera & Messick)]

- ★三要素：知覚された出来事／状況サポート／対処機制
- 6段階介入：①問題明確化②感情表出③資源同定④代替案生成⑤選択・実行⑥評価

[フィンク (Fink)]

- ★段階：衝撃→防衛的退行→承認→適応（語順で暗記）

[評価ツール／図式]

- IES-R（名称だけ）／★ジェノグラム／エコマップ

=====

【ドロシア・オレム／セルフケア欠如看護理論（SCDNT）】

- ★3サブ理論：【セルフケア】【セルフケア欠如】【看護システム】
- ★セルフケア要件（3）：【普遍的】8項目／【発達の】／【健康逸脱】
- 主要概念：セルフケア・エージェンシー／治療的セルフケア需要（T-SCD）
- ★看護システム：全代償／一部代償／支持・教育的（3分類）
- ひっかけ：支持・教育的＝教育、全代償＝完全介助

=====

【シスター・カリスタ・ロイ／適応看護モデル】

- ★4モード：生理的・物理的／自己概念・集団同一性／役割機能／相互依存
- ★刺激3種：【焦点】【関連】【残存】
- ★適応レベル：統合／補償／妥協
- 看護過程：行動評価→刺激評価→診断目標→介入→評価

=====

【ベティ・ニューマン／システムモデル】

- ★クライアント＝開放系（個人/家族/地域）
- ★ストレス：内的／相互／外的
- ★防御線：柔軟防御線／通常の防御線／抵抗線

- ★予防：一次（侵入前）／二次（反応時）／三次（再適応）

=====

【ヒルデガード・ペプロウ／対人関係理論】

- ★4段階：オリエンテーション→同一化→利用→解決
- ★役割：Stranger／Resource／Teacher／Leader／Counselor／Surrogate（英語語尾で暗記）
- キー：相互作用・不安・成長促進

=====

【ヴァージニア・ヘンダーソン／14の基本的ニーズ】

- ★14ニーズ（語順で丸暗記）：呼吸／食事／排泄／動く・姿勢／睡眠／衣類／体温／清潔・整容／危険回避／コミュニケーション／信仰／仕事・有意義活動／遊び／学習
- 看護の定義：自立に向けた援助（代行／補助／協働）

=====

【フローレンス・ナイチンゲール／環境理論】

- ★環境要因：新鮮空気・清浄水・排水・清潔・光（+静寂・栄養・暖・観察）
- 観察の科学・統計、環境調整＝看護の中核

=====

【マーサ・ロジャーズ／統合的人間論（ユニタリ）】

- ★キーワード：エネルギー場／開放性／パターン
- ★原理：ヘリシー／レゾナンス／インテグラリティ
- 全体性・非線形（量子的メタファー）で見分け

=====

【ジーン・ワトソン／トランスパーソナル・ケアリング】

- ★カリタス（10項目のケアリングプロセス名）
- キー：ケアリング関係／ヒーリング環境／スピリチュアル・意味づけ

=====

【マドレーン・ライニンガー／文化看護（トランスカルチュラル）】

- ★Sunriseモデル／Etic - Emic
- ★文化ケアの3方略：保持（保全）／調整（適応）／再様式化（再構築）
- 事例：宗教・食・家族役割への“文化適合ケア”

=====

【イモージン・キング／目標達成理論】

- ★3システム：個人的／対人的／社会的
- ★トランザクション→目標設定→役割・権力・コミュニケーション
- 共同意思決定・目標合意・相互達成

=====

【ドロシー・ジョンソン／行動システムモデル】

- ★7 サブシステム：愛着・依存・摂取・排泄・性・攻撃保護・達成
- 均衡維持 (set・drive・choice・behavior) を語で覚える

=====

【アイダ・オーランド／意図的看護 (看護過程)】

- ★3 要素：患者の表出行動／看護師の即時反応／看護行為 (熟慮的 vs 自動的)
- ★検証 (validation) = 患者と意味合わせ→“思い込み介入”防止

=====

【ジョイス・トラベルビー／人間 - 対人間関係】

- ★段階：初回出会い→同一化の出現→共感→同情→ラポール
- キー：苦悩・希望・意味づけ (個として関わる)

=====

【マーガレット・ニューマン／拡張する意識としての健康】

- ★パターン認識 (患者 - 家族 - 看護師のパターン開示)
- 健康 - 病いの連続体で“意識の拡張”を促す語が出たらニューマン

=====

【横断で問われる“比較・識別”チェック (★頻出)】

- ★予防の一次/二次/三次：キャプラン／ベティ・ニューマン (用語対応を一致)
- ★刺激の分類 (焦点/関連/残存) = カリスタ・ロイ、ライン (柔軟/通常/抵抗) = ベティ・ニューマン
- ★看護師の役割 (ペプロウ 6 役割) とオレムの看護システム (全/一部/支持 - 教育) を取り違えない
- ★文化ケア 3 方略 (保持・調整・再様式化) = ライニンガー 固定語
- ★ヘンダーソン 14 ニーズは語呂／順序カードで毎日回す
- ★オーランドの「検証」とペプロウの「関係段階」を区別
- ★ロジャーズ (エネルギー場…) とマーガレット・ニューマン (パターン開示) を語で区別

=====

【周回の回し方 (各理論 共通フォーマット)】

- 用語カード：定義／コア概念／構成要素 (3～10 語) / 看護目標 / “ひっかけ語”
 - 1 理論 = 60 秒想起：①定義→②コア語→③代表図式→④ひっかけ
 - 1 日 10 理論×2 周 (朝晩) = 約 20～25 分 ※試験直前は危機×オレム×ロイ×ベティ・ニューマン×ペプロウ×ヘンダーソンを★3 周
-

Q1 危機理論（キャプラン）の4段階の正しい順序は？

- A 承認→防衛的退行→衝撃→適応
- B 緊張上昇→対処失敗→外部援助探索→破綻/再組織
- C 対処失敗→緊張上昇→破綻/再組織→外部援助探索
- D 衝撃→承認→適応→再発

Q2 アギレラ&メシックの危機モデルの三要素は？

- A 対処機制／残存刺激／行動反応
- B 知覚された出来事／状況サポート／対処機制
- C 焦点刺激／関連刺激／残存刺激
- D 通常の防御線／柔軟防御線／抵抗線

Q3 フィンクの危機反応段階の正しい順序は？

- A 衝撃→防衛的退行→承認→適応
- B 防衛的退行→衝撃→適応→承認
- C 承認→衝撃→適応→防衛的退行
- D 衝撃→適応→承認→防衛的退行

Q4 オレムのSCDNTに含まれないのは？

- A セルフケア
- B セルフケア欠如
- C 看護システム
- D トランザクション

Q5 オレムの看護システム3類型は？

- A 全代償／一部代償／支持・教育的
- B 生理的／心理的／社会的
- C 個人的／対人的／社会的
- D 統合／補償／妥協

Q6 ロイの4モードの組合せは？

- A 生理的・物理的／自己概念・集団同一性／役割機能／相互依存
- B 生理的・社会的／行動・役割／相互作用
- C 生理的・精神的／家族・役割／対人
- D 生理的・感情的／役割・社会的／相互依存

Q7 ロイの刺激3分類は？

- A 内的／外的／相互
- B 焦点／関連／残存
- C 統合／補償／妥協
- D 弾力／通常／抵抗

Q8 ニューマンの防御線の並びは？

- A 通常→柔軟→抵抗
- B 柔軟→通常→抵抗
- C 抵抗→柔軟→通常
- D 通常→抵抗→柔軟

Q9 ニューマンの予防3水準の対応として正しいのは？

- A 一次=反応時、二次=再適応、三次=侵入前
- B 一次=侵入前、二次=反応時、三次=再適応
- C 一次=再適応、二次=侵入前、三次=反応時
- D 一次=反応後、二次=侵入後、三次=反応前

Q10 ペプロウの関係段階の正しい順序は？

- A 同一化→利用→解決→オリエンテーション
- B オリエンテーション→同一化→利用→解決
- C 利用→解決→同一化→オリエンテーション
- D オリエンテーション→利用→同一化→解決

Q11 ペプロウの看護師の役割に含まれないのは？

- A ストレンジャー
- B リソース
- C ティーチャー
- D アナライザー

Q12 ヘンダーソンの「14の基本的ニーズ」に含まれないのは？

- A 呼吸・食事・排泄
- B 睡眠・体温・清潔・整容
- C 危険回避・コミュニケーション・学習
- D インフォームド・コンセント・倫理審査

Q13 ナイチンゲールの環境理論で核心となる要素は？

- A 新鮮空気・清浄水・排水・清潔・光
- B 罰と規律
- C 統計と記録のみ
- D 遺伝学

Q14 ロジャーズの3原理の組合せは？

- A ヘリシー／レゾナンシー／インテグラリティ
- B ヘリシー／コンシステンシー／フィードバック
- C レゾナンシー／エコロジー／リダンダンシー
- D インテグラリティ／リズム／平衡

Q15 ワトソンのキーワードに最も近いのは？

- A カリタス／トランスパーソナル・ケアリング
- B 役割機能／統合
- C 抵抗線／防御線
- D トランザクション／協働目標

Q16 ライニンガーの文化ケア3方略は？

- A 保持・調整・再様式化
- B 予防・教育・治療
- C 支援・教育・代償
- D 保持・代償・統合

Q17 キングの3システムは？

- A 生理的／心理的／社会的
- B 個人的／対人的／社会的
- C 役割／権力／コミュニケーション
- D 目標／評価／達成

Q18 ジョンソンの7サブシステムに含まれないのは？

- A 愛着／依存／摂取／排泄／性／攻撃保護／達成
- B 学習
- C 排泄
- D 達成

Q19 オーランドの「検証 (validation)」のねらいに最も近いのは？

- A 看護師の直感で判断を早める
- B 患者の表出の意味を患者と照合し思い込み介入を防ぐ
- C 看護師間の記録の整合性確認
- D 倫理委員会での検証

Q20 トラベルビーの関係段階の正しい順序は？

- A 初回出会い→同一化→共感→同情→ラポール
- B 初回出会い→共感→同一化→同情→ラポール
- C 初回出会い→同情→共感→同一化→ラポール
- D 初回出会い→ラポール→共感→同情→同一化

Q21 マーガレット・ニューマンのキーワードは？

- A エネルギー場・ヘリシー
- B パターン認識・意識の拡張
- C 防御線・ストレッサー
- D 役割機能・相互依存

【解答】 1B / 2B / 3A / 4D / 5A / 6A / 7B / 8B / 9B / 10B / 11D / 12D / 13A / 14A / 15A / 16A / 17B / 18B /
19B / 20A / 21B